

平成15年度

立正大学 心理学部 公開講座

・
受講者募集
(受講料無料)

主催：立正大学心理学部
後援：品川区教育委員会

大人・親・子どもの
こころの問題を
考える：

- | | | | |
|---|--------------------|--------------------------|----------------------------|
| 1 | 10. 4 (sat) | 立正大学心理学部 助教授 (臨床心理士) | 岡本 淳子 『自分を守りながら生きている子ども達』 |
| 2 | 10.11 (sat) | 立正大学心理学部 教授 (臨床心理士) | 片岡 玲子 『少子化時代の子育て支援と虐待予防』 |
| 3 | 10.18 (sat) | 立正大学心理学部 専任講師 (臨床心理士) | 小澤 康司 『子どもの心を聴くために』 |
| 4 | 10.25 (sat) | 立正大学心理学部 助教授 (臨床心理士) | 宮城まり子 『職場のメンタルヘルスとカウンセリング』 |

募集要項
■日時／10月4日(土)・10月11日(土)・10月18日(土)・10月25日(土)午後1時30分～3時00分
■会場／立正大学大崎校舎5号館5階553教室
■対象／16歳以上の方
■定員／100名(定員を超えた場合は抽選)
■受講料／無料
■託児所／託児所あり(3歳児以上)無料
■申込方法／往復はがきに講座名「立正大学心理学部公開講座」住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・連絡先電話番号・託児希望(お子様の氏名(ふりがな)・年齢・性別)を記入の上、立正大学心理学部事務室までお申込みください。
■申込期間／平成15年9月1日(月)～9月27日(土)消印有効
■お問い合わせ先／立正大学心理学部事務室 〒141-8602 品川区大崎4-2-16 TEL. 03-3492-6196

募集要項

対象：16歳以上の方

定員：100名(定員を超えた場合は抽選)

受講料：無料

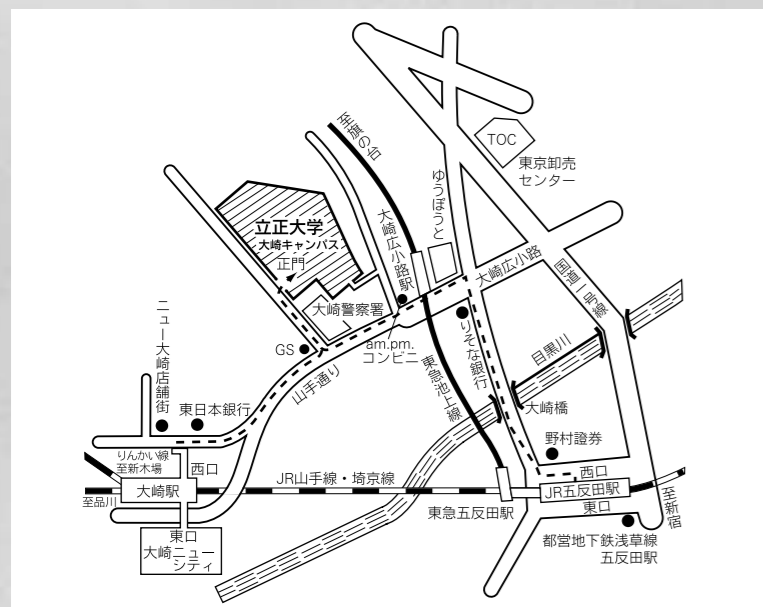
託児所：託児所あり(3歳児以上)無料

申込方法：往復はがきに講座名「立正大学心理学部公開講座」・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・連絡先電話番号・託児希望(お子様の氏名(ふりがな)・年齢・性別)を記入の上、立正大学心理学部事務室までお申込みください。

申込期間：平成15年9月1日(月)～9月27日(土)消印有効

問合せ先：立正大学心理学部事務室
〒141-8602 品川区大崎4-2-16
TEL. 03-3492-6196

会場案内 ※駐車スペースがございませんので、車での来校はご遠慮下さい。



| | | |
|-------------------|-----------|------|
| 山の手線 | 五反田・大崎駅下車 | 徒歩8分 |
| 東急池上線 | 大崎広小路駅下車 | 徒歩4分 |
| 都営浅草線 | 五反田駅下車 | 徒歩8分 |
| 東急バス渋41(渋谷駅-大井町駅) | 大崎警察署前下車 | 徒歩2分 |

平成15年度

立正大学 心理学部 公開講座

受講者募集 (受講料無料)

10. 4 (sat) 10.11(sat)
10.18(sat) 10.25(sat)
P.M.1:30 ~ P.M.3:00

会場：立正大学大崎校舎5号館5階553教室

大人・親・子どもの
こころの問題を
考える：

大人・親・子どもの ここらの問題を 考える…

立正大学心理学部の公開講座で子育て中の親、子ども、企業社会での大人が抱えているここらの問題についていっしょに考えてみませんか。親は子育てでどんなことに悩んでいるのか、子どもは学校や家庭で何を感じているのか、は職場での仕事や人間関係でどんなことに悩んでいるのか、相互の理解を深める問題を考え、解決していくきっかけがつかめるのではないのでしょうか。また大人は職場での仕事や人間関係でどんなことに悩んでいるのか、相互の理解を深めることからここらの問題を考え、解決していくきっかけがつかめるのではないのでしょうか。不登校、いじめ、虐待、ここらのケア、職場でのメンタルヘルスなどについて実態をふまえながら研究を進めている先生方にお話ししていただきます。どうぞご参加ください。

第1回
10.4
(sat)

自分を守りながら生きている子ども達

心理学部助教授(臨床心理士) 岡本淳子

学校では、にぎやかに子ども達の声が飛び交っています。教室に一歩足を踏み入ると、若い元気なエネルギーなやりとり、大人は圧倒されるような熱気を感じます。そんな中で、子ども一人ひとりとはどんな気持ちもちながら、学校の中で過ごしているのでしょうか。子どもたちの中では大人が考える以上に、厳しい、見方によっては、大人顔まけの人間関係が展開しているものです。近頃では不登校のとどまるところのない増加、いじめがらみの殺人事件の発生など、大人の意表をつくような重篤な事件の展開も見られ、子ども達の心理の理解がむずかしい時代になりました。そういう人間関係の荒波の中で、よく見ると子ども達は懸命に自分を守りながら生きています。子ども達の心理を大人がどのように見据えていったらよいのか、子どもの成長を大人がどのように助けていったらよいのかを考えていきます。



プロフィール

●現在の研究テーマ／①学校心理臨床の現状と課題●学会活動・社会的活動／①日本心理臨床学会②日本家族心理学会③日本コミュニティ心理学会④東京臨床心理士会●最近の研究成果／①「いじめ問題の解決に向けてー中学生に対するグループアプローチ」(岩崎学術出版)

第2回
10.11
(sat)

少子化時代の子育て支援と虐待予防

心理学部教授(臨床心理士) 片岡玲子

わが国では、少子化が大変な勢いで進んでいます。その原因についてはさまざまに推測されていますが、少子化の陰で、子育て中の母親たちの悲鳴やSOSが聞こえます。仕事を持って働いている母親以上に、就労していない専業主婦の子育てに対する負担感が強いという調査もあります。家庭のあり様も変化しています。密室の中で子どもと二人ストレスをため、児童虐待につながる例もあります。子育てのしぐみが長い間、あまりにも母親だけの負担とされてきたことへのつげがきているのかもしれない。「今どきの親は…」と非難するのは簡単ですが、それでは問題は解決しません。少なくとも子育て中の母親が「自分達は社会から大事にされている」と感じられるようにする必要があります。子育て不安、子育て不満など、子育て相談を通して見える親と子のここらの問題について考えたいと思います。



プロフィール

●現在の研究テーマ／①地域社会における臨床心理学の役割／②児童福祉と子育て支援●学会活動・社会的活動／①日本心理臨床学会②日本子ども家庭福祉学会③日本電話相談学会④東京臨床心理士会副会長●最近の研究成果／①「地域社会における子ども家庭福祉のサポートネットワーク」(世界と児童と母性)②「電話相談による子育て応援」(日本電話相談学会)

第3回
10.18
(sat)

子どもの心を聴くために

心理学部専任講師(臨床心理士) 小澤康司

子どもたちの心を理解するにはどうすればよいのでしょうか。誰れもが悩む問題です。心が通うコミュニケーションをする為の基本を実習を通して学んでゆきます。コミュニケーションの基本で大切なことは話を聴く気持ちを持つこと、理解しようとする気持ちを持つことです。このような話の聴き方が話をする人の心にどのような影響を及ぼすか実際に確認しながら学んでゆきます。またコミュニケーションが人間の信頼関係の構築にどのように関係するのか勉強してゆきます。



プロフィール

●現在の研究テーマ／①被災者支援②リラクゼーション③信頼意識④キャリア開発●学会活動・社会的活動／①日本心理臨床学会②日本産業カウンセリング学会(常任理事)③日本カウンセリング学会(常任理事)●最近の研究成果／①米国同時多発テロ事件日本人学校心のケア活動に従事②統合リラクゼーション法の開発③ライフスキルプログラムの開発

第4回
10.25
(sat)

職場のメンタルヘルスとカウンセリング

心理学部助教授(臨床心理士) 宮城まり子

社会経済環境の大きな変化により働く人々のストレスは大きくなり、さまざまな悩みや苦しみを抱える人が多くなりました。こうした中で、最近増え続けているのがうつ病です。職場環境をどのように作り、なんでも気軽に相談できる・話し合える職場づくりをするためにはどうしたらよいのでしょうか。職場カウンセリングの進め方とその方法、また個人の心の健康管理、ストレス管理のしかたなどについて学びます。



プロフィール

●現在の研究テーマ／①キャリア開発とキャリアカウンセリング②産業組織におけるメンタルヘルス●学会活動・社会的活動／①産業カウンセリング学会常任理事②産業組織心理学学会理事③横浜市教育委員会社会教育委員④横浜市「21世紀のこどもの未来を考える会」委員⑤横浜ボランティア協会理事●最近の研究成果／①キャリアカウンセリング(駿河台出版社・単著)②働く人のメンタルヘルスー産業カウンセリングの積極的活用(経営研究所、マネジメントトレンドVol.6.2002)